

第五十五回句会 俳句

【高点句】

- ☆花屑を蹴立てて鳩の飛び立ちぬ 〈明美〉  
☆春塵を蹴りて少女の逆上がり 〈郁代〉  
☆遅き日の旋盤回る町工場 〈莫院〉  
☆梵鐘の音がながと暮かぬる 〈眞澄〉

【各自一句】

- ・花の舞ふ坂道の上兄見舞ふ 〈千恵〉  
・杖をつく母の手を取り遅日かな 〈莫院〉  
・咲き満ちて虚子思はする桜かな 〈眞澄〉  
・遅日かな物干しのシャツ揺れ続け 〈安津子〉  
・花吹雪記念撮影中断す 〈青蛙〉  
・寒き雨桜葉散らぬ遅日なり 〈隆司〉  
・赤提灯はにかみて入り暮遅し 〈一衣〉  
・はらり散る桜に恋の終わりみて 〈童心〉  
・初花を求め今宵はまわり道 〈伸子〉  
・暮遅しランナーの影伸びる路 〈雄記〉  
・細波の形に寄せて花筏 〈明美〉  
・父の声「大人二枚」と麗かに 〈郁代〉  
・強東風に抱かれしややは眼を瞑り 〈一馬〉  
・雨に散る花へばりつくりアガラス 〈撫子〉  
・まなうらの母の土筆の卵とし 〈緑〉

\*以上、43句（3句ずつ14名と1句1名）より、選句は15名により4句ずつ

\*高点句は、高得点の句より3句（今回は第3位が同点で2句）

\*各自一句は、得点に関わらず、作者自身の選出による（得点順ではなく、俳句一覧表に偶然記載された順に掲載）